

CARMATE



A I L E B E B E

## 取扱説明書



**KURUTTO 4s / 5s**  
クルット

[動画]  
取扱説明



本品はお子さまを守るために安全製品です。誤った取り付け、使用により  
お子さまの死亡や重傷を負う事故の原因となる場合があります。使用する  
前に必ず本書をよく読み、内容を充分にご理解の上、正しく使用してください。

# 本品の基本的な使いかた

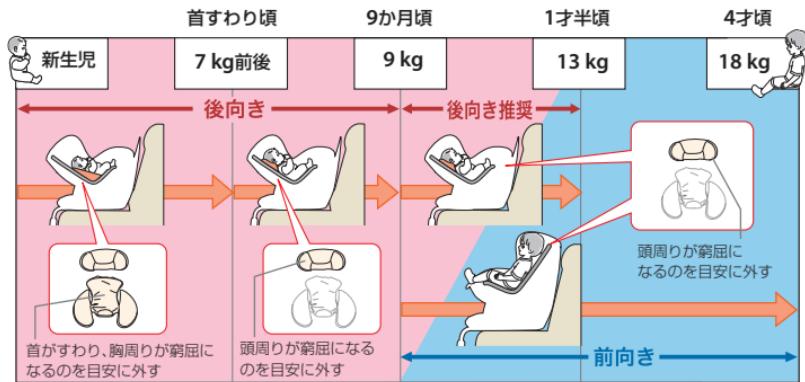
## ■ お子さまの年齢とシートモードについて



※ 年齢は目安です。お子さまの成長に合わせて調節してください。

お子さまを乗せる ➡ **40** ページへ

## ■ お子さまの体重とシートモードについて



**危険**  
体重9kg未満は必ず後向きでご使用ください。前向きで使用すると骨格や筋肉が未発達のため、衝突時に脳や首に重大な傷害を負うおそれがあります。後向きで着席させ、衝突時の衝撃を背中全体で分散して受け止めるのが理想です。

ママの手クッションを調節する ➡ **44** ページへ

## 目次



### 箱から出したら まず確認

各部の名称と付属品 .....	4
チャイルドシートの正しい持ちかた .....	7
安全にお使いいただくために .....	8
緊急事態が発生したら .....	17



### 取り付け・取り外し 方法

車へチャイルドシートを取り付ける .....	18
車からチャイルドシートを取り外す .....	32



### お子さまを乗せる

リクライニングの操作方法 .....	38
回転操作方法 .....	39
お子さまを乗せる .....	40
ママの手クッションを調節する .....	44
肩ベルトの高さを調節する .....	48
お子さまを乗せた後の確認 .....	53



### 付属品の使いかた

日よけを取り付ける .....	55
日よけを取り外す .....	58



### お手入れのしかた

カバーを取り外す .....	59
お手入れのしかた .....	64
カバーを取り付ける .....	65



### Q&A

よくあるご質問 .....	72
---------------	----

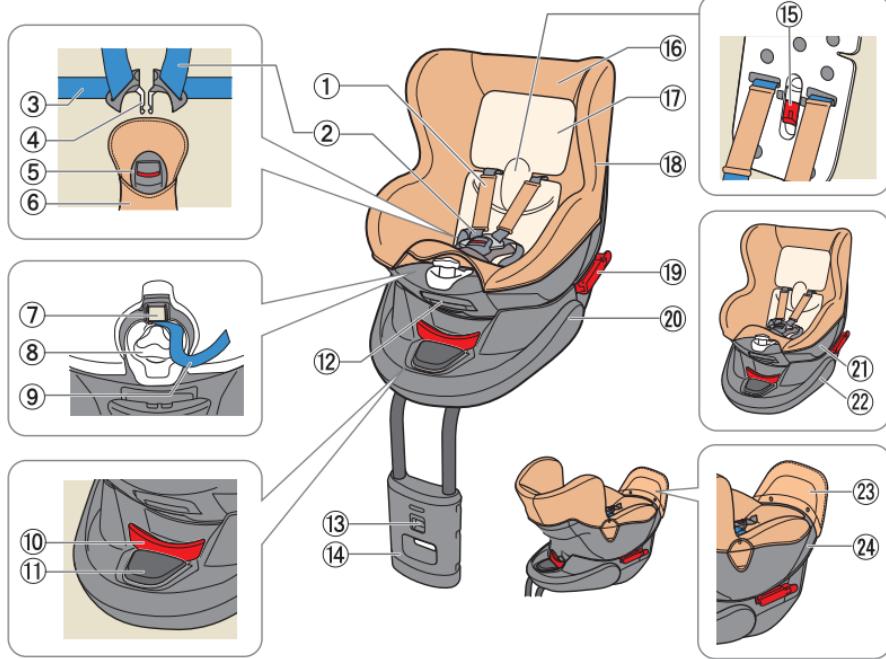
### その他

保証書 .....	77
製品仕様 .....	79
保管方法 .....	79
廃棄方法 .....	79



# 各部の名称と付属品

## ■ 本体

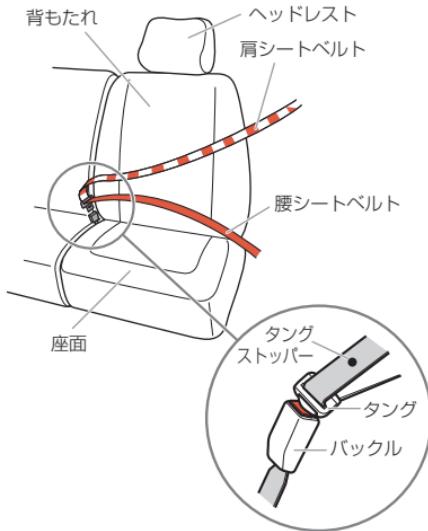


\*グレードにより仕様が異なる場合や付属されていない場合があります。

- ① 肩ベルトカバー\*
- ② 肩ベルト
- ③ 腰ベルト
- ④ タング
- ⑤ バックル
- ⑥ バックルカバー
- ⑦ アジャストレバー
- ⑧ クルレットノブ
- ⑨ 肩ベルトアジャスター
- ⑩ ベルトガイド
- ⑪ パワーアシストボタン
- ⑫ リクライニングレバー
- ⑬ サポートレッグ調節レバー
- ⑭ サポートレッグ  
(梱包時は収納されています)
- ⑮ 肩ベルト調節レバー
- ⑯ 本体力バー\*
- ⑰ 背もたれ力バー\*
- ⑯ タングホルダー(左右)\*
- ⑯ ベルトストッパー(左右)
- ⑯ 腰シートベルトガイド(左右)
- ㉑ シート
- ㉒ ベース
- ㉓ 肩シートベルトガードカバー(背面)
- ㉔ 肩シートベルトガード(背面)

## ■ 車の座席名称

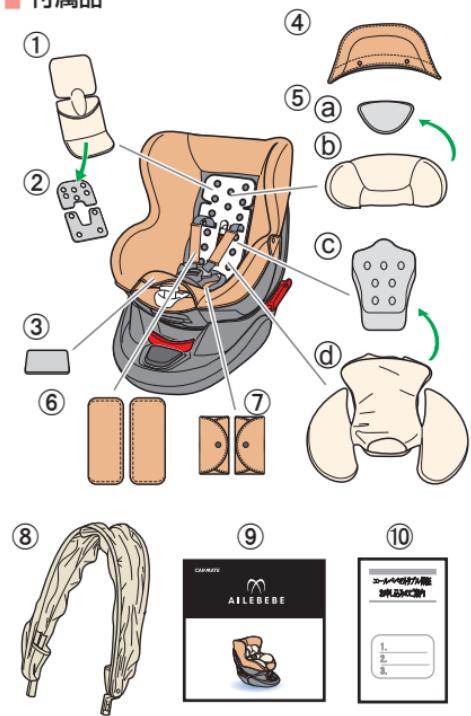
本書では、車の座席周りの名称を次のように呼んでいます。



# 各部の名称と付属品



## 付属品



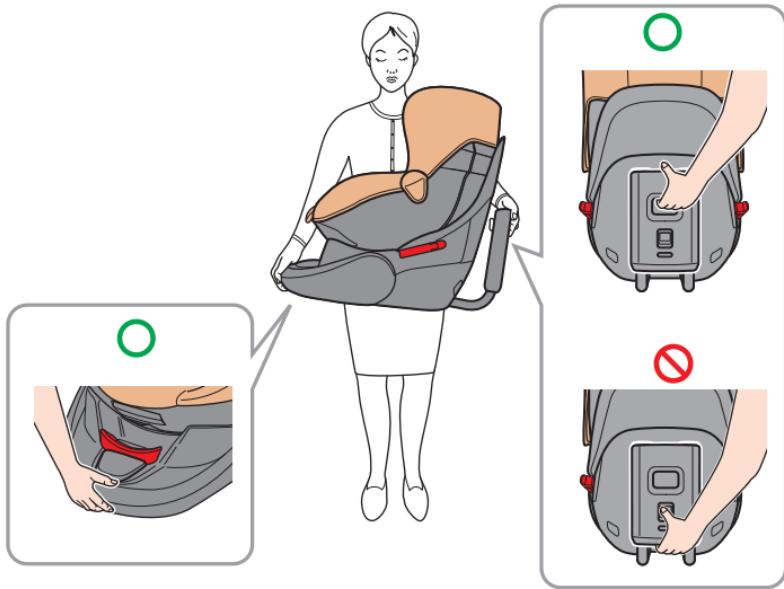
\*グレードにより仕様が異なる場合や付属されていない場合があります。

- ① 背もたれカバー\*
- ② 背もたれクッション\*
- ③ フラップクッション
- ④ 肩シートベルトガードカバー
- ⑤ ママの手クッション“フラット2”\*
- ⑥ ヘッドクッション\*
- ⑦ ヘッドサポート\*
- ⑧ フラットクッション2\*
- ⑨ ヒップサポート\*
- ⑩ よだれパッド\*
- ⑪ 腰ベルトカバー\*
- ⑫ 日よけ\*
- ⑬ 取扱説明書
- ⑭ トリプル保証お申し込みのご案内

## 取扱説明書収納場所



# チャイルドシートの正しい持ちかた



---

ご注意 • お子さまを乗せたまま持ち運ばないでください。  
• 本品を持ち運びする際は日よけ部分を持たないでください。

---



# 安全にお使いいただくために

## ■ 取り付け適合を確認する

本品はUN (ECE) R44/04において下記条件で認可された商品です。

- ・グループ：0+、I
- ・カテゴリー：セミユニバーサル
- ・お子さまの体重：新生児～18kgのみ使用可能

弊社の適合情報にて取り付け可能な車の座席のみ使用可能

## 適合車種の確認方法

店頭で .....「エールベベ車種別適合表」

パソコンで .....<http://www.ailebebe.jp/>

ケータイで .....「エールベベ車種別適合表」右記のQRコードから  
アクセスできます。ご不明な点がございました  
ら、巻末に記載のカーメイトサービスセンターへ  
お問い合わせください。

適合車種確認



## 取り付けできるシートベルト

本品はUN (ECE) R16/06または同等の基準に基づいて認可された  
3点式シートベルトのみご使用いただけます。



3点式シートベルト



2点式シートベルト



## ■ シートベルトの種類

シートベルトの種類や使用方法については必ず車に備え付けの取扱説明書をご確認ください。

シートベルトの種類	シートベルトの特徴	本品使用時の注意事項
<b>ELR</b> (緊急時ロック式巻取装置) 機能付き	自動で巻き取られ、急ブレーキ、衝突時など急速に引かれる とロックされます。	取り付け時には、シートベルトを急速に引かずゆっくりと引 き出しながら取り付けをしてください。
<b>ALR/ELR</b> (チャイルドシート固定) 機能付き	ELR機能の特徴に加え、ベルトの巻き取り装置から全部引き 出すとALR機能が働きシートベルトがロックされ、巻き取 ることしかできなくなります。 すべて巻き取るとロックは解除されます。	ALR機能を作動させないように、シートベルトを必要な分だけ引 き出しながら取り付けを行ってください。

## ■ 安全の注意事項

取扱説明書および製品本体では、安全の注意事項を次のように表示しています。  
表示内容をよくご理解ください。



**危険** 危険事項を守らずに使用した場合、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる原因となります。



**警告** 警告を守らずに使用した場合、使用者の死亡や重傷を負う事故につながることがあります。



**注意** 注意を守らずに使用した場合、使用者のけがや周辺の物品損害を伴う事故につながることがあります。



# 安全にお使いいただくために

## チャイルドシートの取り付けについて

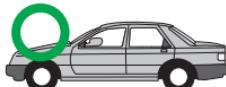
### ⚠ 危険

- 取り付け適合車種、取り付け適合座席以外では使用しない
- 本品は正しい取り付け適合で、正しい使用および装着をしないと本来の性能を発揮できません。また、取り付ける車を替えられる場合は、再度、車種適合を確認してからご使用ください。

適合車種や座席の確認方法 ➡ **8** ページへ

### 走行中に取り付け・取り外しをしない

- 必ず安全な場所に停車して行ってください。



### エアバッグが装備されている座席で使用しない

- エアバッグが作動した際に、お子さまに強い力が加わって、死亡や重症に至る危険性があります。なお、エアバッグが無作動にできる場合は、車の取扱説明書に従ってください。(サイドエアバッグやカーテンエアバッグのみの座席には使用できます。)



### 助手席に取り付けない

- 衝突時、他の座席より損傷を受ける可能性が高く危険です。

## チャイルドシートの取り付けについて

### ⚠ 警告

- 取り付け後にシートスライドまたはリクライニングしない  
• シートベルトがゆるんでしまい、チャイルドシートが固定されず安全性が損なわれます。



- タングにゆるみ・ねじれがないことを確認する  
• 正しく取り付けができず、本来の性能を発揮できません。



適合車種の確認方法 ➡ **8** ページへ

- 車のバックルはホルダー等から外して使用する  
• 正しく取り付けができず、安全性が損なわれます。



- 車のシートベルトキーパーを外して取り付けする  
• 正しく取り付けができず、安全性が損なわれます。



- 緊急時の脱出の妨げになる座席には取り付けない  
(片側スライドドアの入り口側座席など)  
• 事故などの緊急時に、同乗者の脱出の妨げになる座席には取り付けないでください。



### ⚠ 注意

- 車のシートに取り付け跡が残る可能性があります



## 安全にお使いいただくために

### チャイルドシートの取り扱いについて

#### ⚠ 危険

- 分解、改造、油をさす、および指定部品以外の交換はしない  
• 本品の性能が充分に発揮できず、安全性が損なわれる原因になります。



#### 事故や強い衝撃を受けた場合は使用しない

- 外観上破損が確認できない場合でも、本品の強度が下がってしまうことがあるため、交換が必要になります。  
• 可動式シートや車のドアに本品の剛性部分(プラスチック部分など)が挟まると本品の強度が下がってしまうことがあるため、交換が必要になります。



#### ⚠ 警告

#### シートカバーやクッション材は正しい状態で使用する

- シートカバーやクッション材を外したり、他のものと交換したり、大きく破れた状態で使用したりすると、本品の性能が充分に発揮できず、安全性が損なわれる原因となります。

**サポートレッグが座席のスライドレールに干渉する場合は、メーカー純正のフロアマットを使用する**

- サポートレッグが座席のスライドレールに干渉したまま使い続けると、本品がしっかり固定されず、取り付けがゆるむ原因となります。

**タンクストッパーによりしっかり固定できない場合は、座席をスライドする**

- スライド機能がある座席でタンクストッパーがタンクに干渉し、シートベルトを強く引っ張ってもしっかり固定できない場合があります。この場合は、車の座席をスライドさせてから、もう一度取り付けてください。

タンクストッパーがタンクに干渉したまま使用すると、本品の取り付けがゆるむ原因となります。

**サポートレッグが車内凹凸やエアコン吹き出し口に干渉する場合は座席をスライドする**

- スライド機能がある座席で、サポートレッグが車内の凹凸やエアコンの吹き出し口などに干渉する場合は、干渉しない位置まで車の座席をスライドさせてください。強い衝撃を受けた際、本品の取り付けがゆるむ原因となります。

**本品が入っているビニール袋は開封後すぐにやぶり捨てる**

- お子さまが誤って袋に頭を入れ、窒息による死亡事故の原因になる場合があります。





## 安全にお使いいただくために

### チャイルドシートの取り扱いについて

#### ⚠ 注意

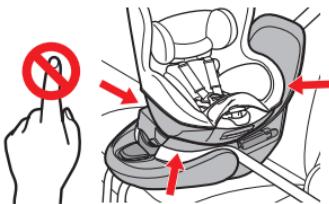
チャイルドシートを直射日光にさらさない

- ・金属部分などが熱くなり、やけどの原因となる場合があります。また、お子さまを乗せる前には、金属部分以外も熱くなっていないか確認してください。



可動部に指を入れない

- ・本品を回転、リクライニング、またはサポートレッグを操作する際は、可動部に指を挟まないようご注意ください。



サポートレッグの解除レバーを押されたまま本品を持たない

- ・サポートレッグの解除レバー等の操作レバーを押されたまま本品を持ち上げると落下してけがの原因になる場合があります。



## お使いになるお子さまの安全のために

### ⚠ 危険

#### 適応体重にあったチャイルドシートの向きに固定する

- 本品を設置する際は、適応体重にあった正しい向きに固定しないと、本品の性能が充分に発揮できず、安全性が損なわれます。

→ [2] ページへ



### ⚠ 警告

#### 体格にあった肩ベルトの高さにする

- 体格にあった正しい肩ベルトの高さにしないと、本品の性能が充分に発揮できず、安全性が損なわれます。

→ [48] ページへ

#### チャイルドシートのバックルを必ずロックする

- 本品のバックルがロックされていないと、衝突の際にお子さまが投げ出される危険性が高くなります。また、チャイルドシートを使用中のお子さま、または同乗のお子さまが、誤ってバックルの解除ボタンを押さないようご注意ください。





# 安全にお使いいただくために

## お使いになるお子さまの安全のために

### ⚠️ 警告

#### 固定していないチャイルドシートを車内に置かない

- 急ブレーキや衝突時に同乗者のけがの原因となる場合があります。

#### 肩ベルト・腰ベルトは正しい位置でゆるみ・ねじれのない状態で使用する

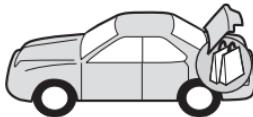
- 万が一事故が起きた際、本来の性能を発揮できません。  
また、肩ベルト・腰ベルトが首に掛かり窒息するなど、予期せぬ事故の原因となる場合があります。

#### お子さまだけを車に残さない

- お子さまが車内にいるときは、必ず保護者の方が付き添ってください。特に夏場は車内が高温になり、熱中症を引き起こす原因となります。また、シートベルトが首に巻きついて窒息するなど、予期せぬ事故の原因となる場合があります。

#### お子さまのけがの原因になるような荷物は必ず固定するかトランク内に収納する

- 急ブレーキや衝突時に、お子さまや同乗者のけがの原因になります。



## ⚠ 注意

靴や衣服のファスナーが本品カバーに引っ掛からないように気をつける

- お子さまの靴や衣服の面ファスナーなどが本品のカバーに引っ掛かると、本品のカバーを傷める可能性があります。

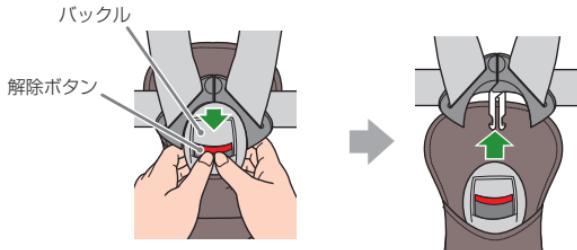


## 参考

お子さまの負担を考えて、1時間ごとを目安に休憩をおとりください。

## 緊急事態が発生したら

事故などの緊急事態が発生した場合は、バックルの解除ボタンを押して肩ベルトをお子さまの腕から外し、すみやかに安全な場所へ避難してください。





# 車へチャイルドシートを取り付ける

## 適合車種のご確認

本品を車に取り付ける前に、必ず本品が取り付け可能かどうか(適合車種)をご確認ください。また、車を替えて本品を取り付け直す場合も、必ず適合車種をご確認ください。

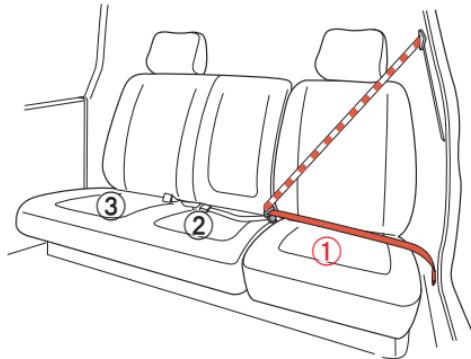
適合車種に該当しないお車の場合は、本品を取り付けないでください。

適合車種の確認方法 ➡ **8** ページへ

## 本書での取り付け座席について

本書では、お車の**左側の座席(①)**を例に、取り付けかたの説明をしています。

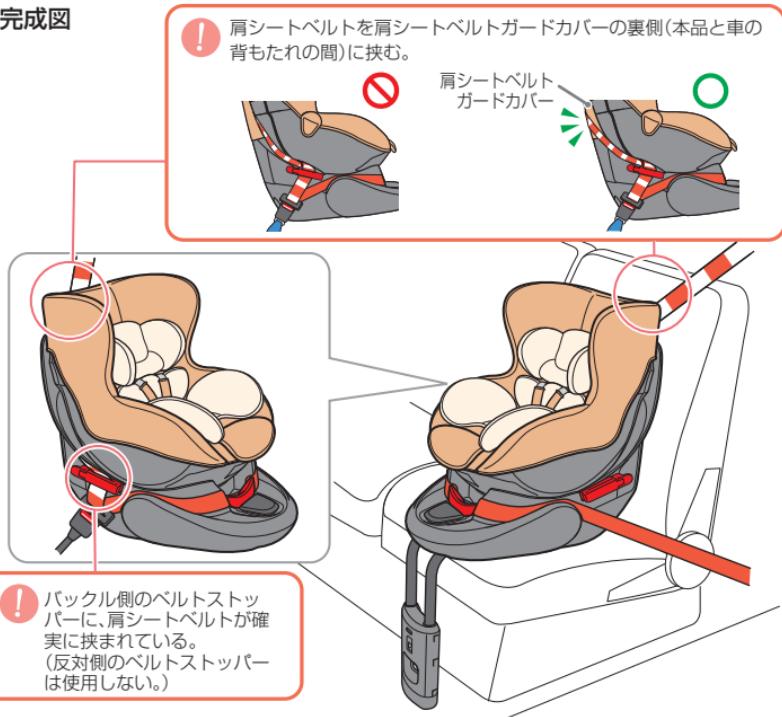
右側の座席に取り付ける場合は、本書とは左右逆になりますので、逆方向に取り付けてください。



**動画**  
取付方法・取付後の確認



## 取り付け完成図



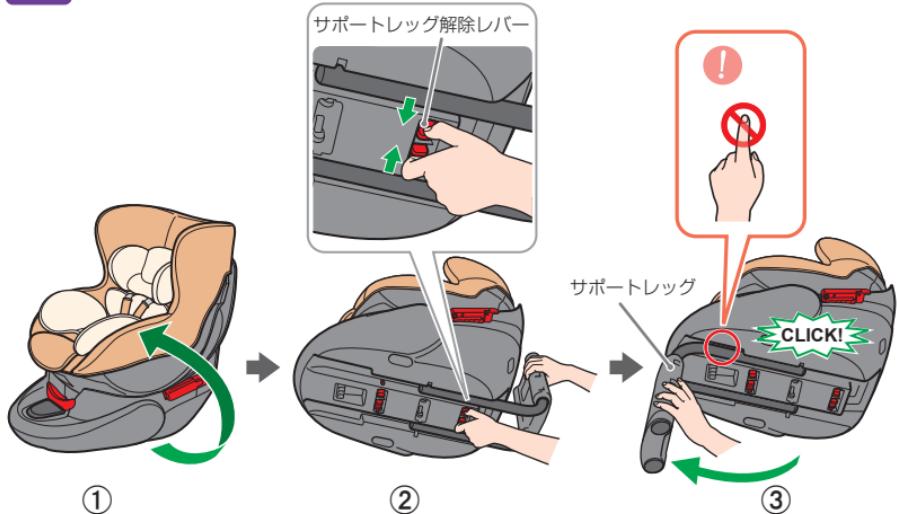
### ⚠ 注意

ALR/ELR機能付きのシートベルト(9ページ参照)で、取り付け途中でALR機能が働いてシートベルトがロックされた場合は、取り付けを最初からやり直してください。



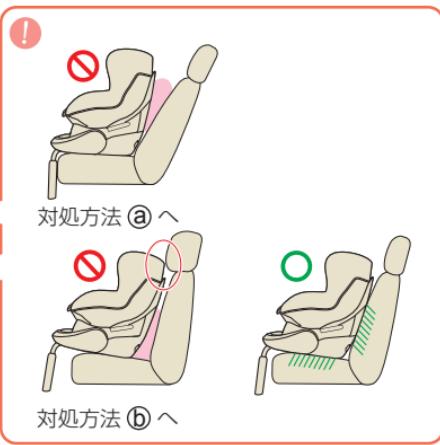
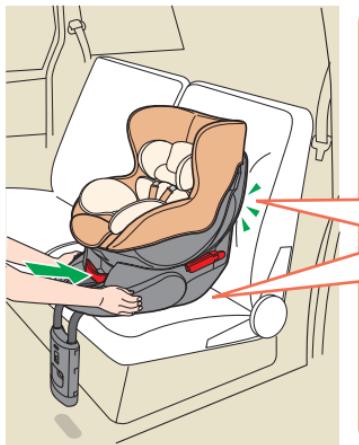
## 車へチャイルドシートを取り付ける

### 1 サポートレッグを取り出す



- ① チャイルドシートの底面が見えるように裏返す。
- ② ベース底面のサポートレッグ解除レバーをつまみ、
- ③ サポートレッグをベース背面から回転させて固定する。

## 2 車の座席に設置する



ベースを車の座面と背もたれに押しつけるように置く。

### ◆ 対処方法

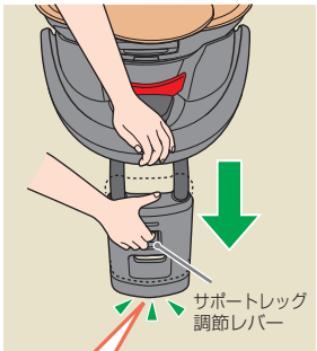
- ④ 車の座席にリクライニング機能がある場合は、リクライニングを調節してベースを車の座面と背もたれに密着させてください。
- ⑤ 車のヘッドレストが本品に干渉する場合は外してください。シートを回転させたり、リクライニングさせたりしたときに車の背もたれに干渉する場合は、背もたれを倒して取り付けし直してください。



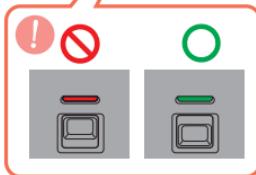
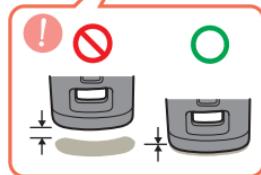
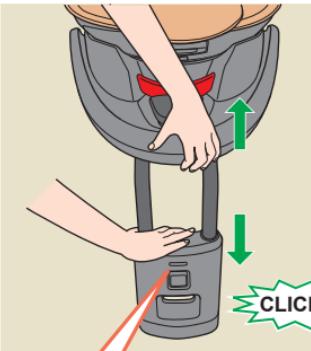
## 車へチャイルドシートを取り付ける

### 3 サポートレッグを床面に接地させる

①



②



- ① サポートレッグ調節レバーを握り、サポートレッグが車の床面に接するまで下げる。
- ② サポートレッグとベースを押し広げると表示が緑になり、サポートレッグがロックします。

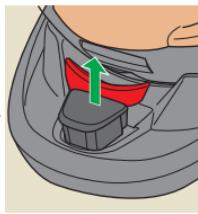
## 4 パワーアシストボタンを解除する



①



②



① ベルトガイドを両手で強く押し込む。

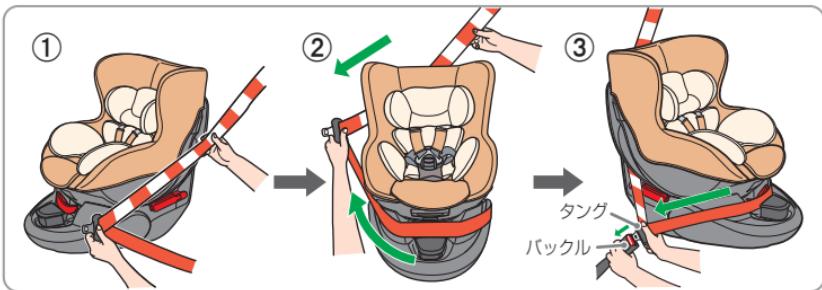
② 押し込んだまま、上へ押し上げながら解除する。



## 車へチャイルドシートを取り付ける

5

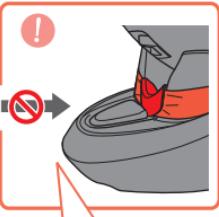
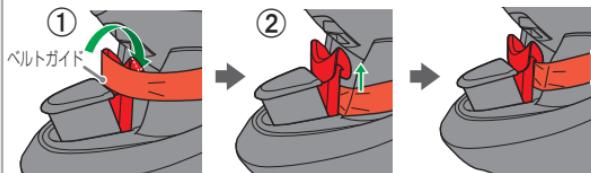
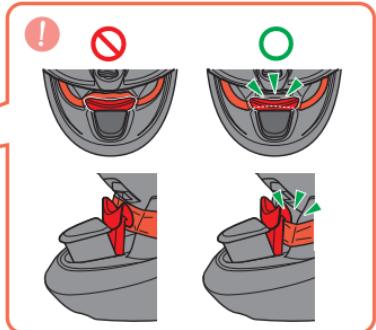
シートベルトを取り付ける



- ① 車のシートベルトを引き出す。
- ② チャイルドシート全体にシートベルトを回す。
- ③ タングをバックルに差し込む。



## 6 ベルトガイドの内側に腰シートベルトを通す



- ① 腰シートベルトをベルトガイドの内側に通す。
- ② 腰シートベルトを返しに引っ掛ける。

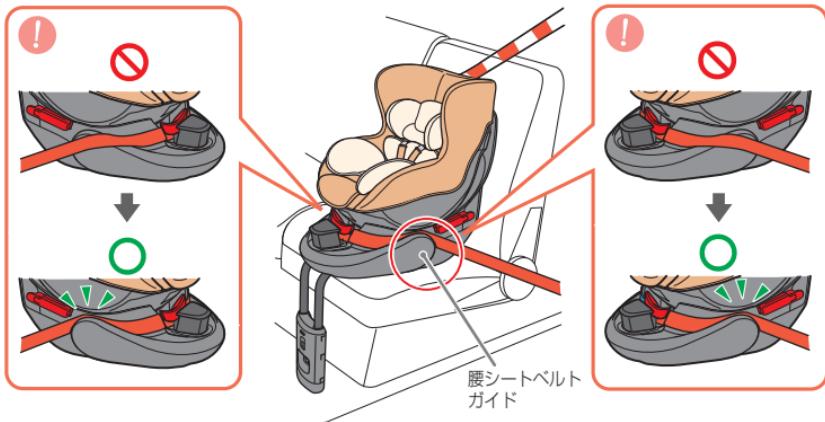
### ⚠ 注意

この時点では、パワーアシストボタンを押さないでください。最後の工程で押します。



## 車へチャイルドシートを取り付ける

### 7 腰シートベルトガイドに腰シートベルトを通す



腰シートベルトを、ベースの左右両側にある腰シートベルトガイドに差し込む。



警告

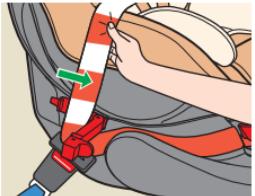
車のシートベルトは、ねじれやゆるみがないように通してください。ねじれやゆるみがあると、強い衝撃が加わったときに固定していたチャイルドシートがゆるみ、お子さまの死亡やけがの原因になります。

## 8 ベルトストッパーに肩シートベルトを通す

①



②



③



- ① シートベルトのバックル側のベルトストッパーを開ける。
- ② 肩シートベルトがねじれないようにベルトストッパーに通す。
- ③ ベルトストッパーを閉じる。

### ⚠ 注意

ベルトストッパーはチャイルドシートの両側にありますが、シートベルトのバックル側のみ使用します。反対側のベルトストッパーは、チャイルドシートの固定がゆるむ原因となりますので使用しないでください。



## 車へチャイルドシートを取り付ける

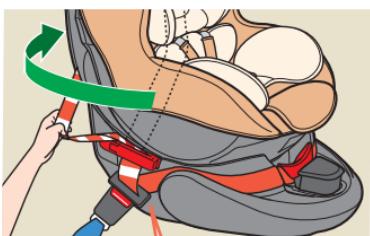
9

腰シートベルトを締める

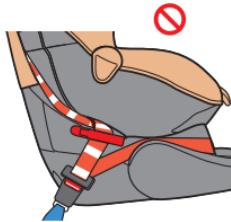
①



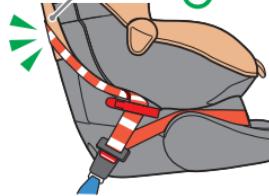
②



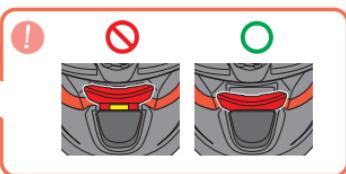
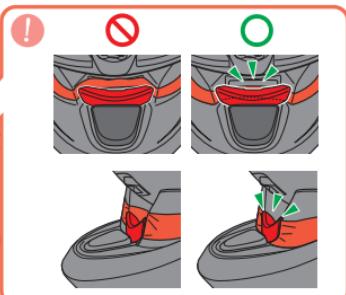
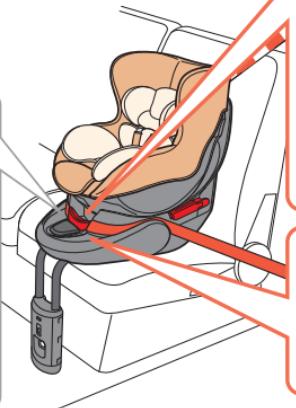
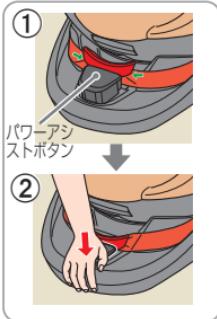
- ① チャイルドシートを押さえつけながら、図のように腰シートベルトをゆるみがなくなるまでしっかりと締める。
- ② 肩シートベルトを肩シートベルトガードカバーの裏側(本品と車の背もたれの間に挟む)に挟む。



肩シートベルトガードカバー



## 10 パワーアシストボタンを押す



- ① 腰シートベルトが、ベルトガイドの内側に通っているか確認してから、
- ② パワーアシストボタンに体重をかけて押し込み、ロックさせる。  
押し込んだ後、黄色のインジケーターが見えていないことを確認してください。  
見えている場合は、さらに押し込むか、シートベルトを緩めて取り付け直してください。

### ⚠️ 警告

パワーアシストボタンを押すのは、必ず最後に行ってください。  
取り付け作業の途中で行うと、本品の性能が充分に発揮できず、安全性が損なわれる原因になります。途中で押してしまった場合は、23ページからやり直してください。



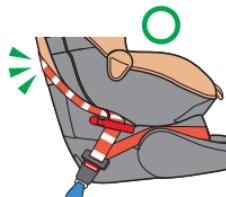
# 車へチャイルドシートを取り付ける

## 取り付け後の確認

### 車のシートベルトのバックル側



- ① 肩シートベルトを肩シートベルトガードカバーの裏側(本品と車の背もたれの間)に挟む。



- ② バックル側のベルトストッパーに肩シートベルトが確実に挟まっている。  
(反対側のベルトストッパーは使用しない。)

- ③ バックルにシートベルトのタングが差し込まれている。  
(バックルのベルトが緩んでいない。)

- ⑤ シートベルトにねじれやゆるみがない。



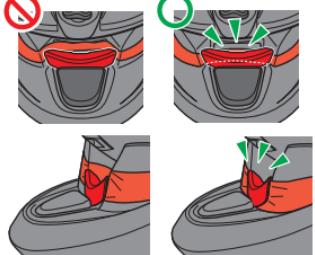
## ⚠️警告

車のシートベルトは正しく通さないと、本品の性能が充分に発揮できず、安全性が損なわれる原因になります。



## 反対側(ドア側)

- ⑥ シートベルトがベルトガイドの内側に確実に通り、パワーアシストボタンが押されている。



- ⑫ 腰シートベルトが、腰シートベルトガイドに確実に通っている。



- ⑪ ベルトストッパーにシートベルトを通さない。



- ⑧ サポートレッグが床面に接し、確実にロックされている。

- ⑨ ベースを前後左右にゆらしても2cm以上ズれない。



正しく取り付けできない場合は、最初からやり直してください。

取り付けに関してご不明な点等がありましたら、巻末に記載のサービスセンターにお問い合わせください。

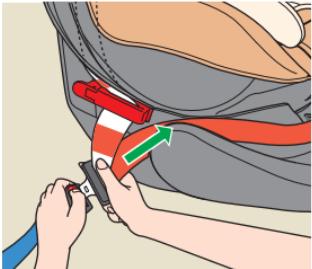


# 車からチャイルドシートを取り外す

取り外しする際は、シートを前向きにした状態で行ってください。

1

シートベルトを外す



車のバックルのPRESSボタンを押し、  
シートベルトのタングを外す。

動画

取外方法



## 2 ベルトストッパーからシートベルトを外す

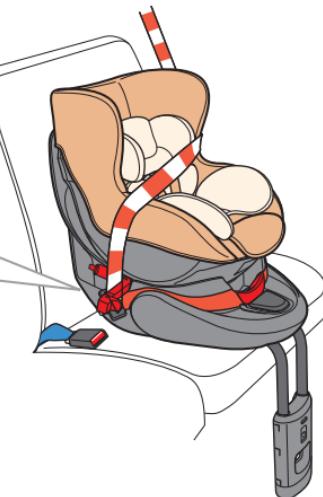
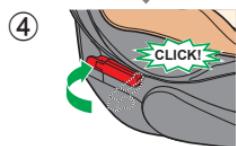
①



②

③

④



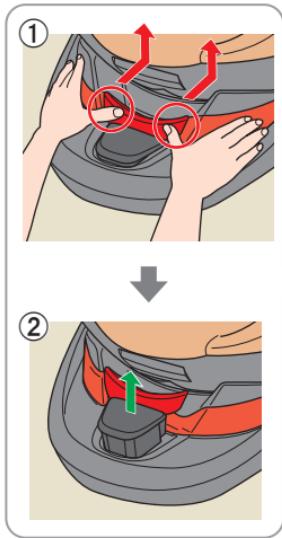
ベルトストッパーを開け、肩シートベルトを外す。

シートベルトを外した後は、ベルトストッパーを閉めてください。



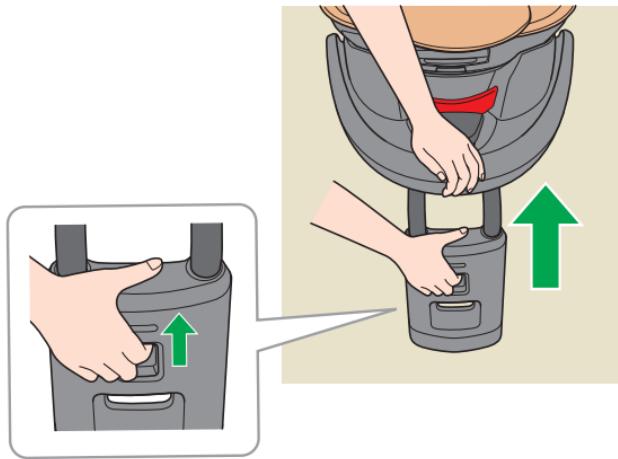
## 車からチャイルドシートを取り外す

### 3 パワーアシストボタンを解除する



- ① ベルトガイドを押してパワーアシストボタンを解除する。
- ② チャイルドシートからシートベルトを外す。

#### 4 サポートレッグを縮める

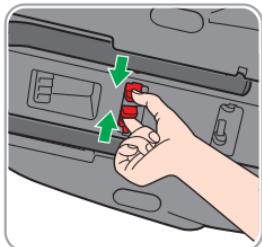


サポートレッグ調節レバーを握りながら、伸ばしたサポートレッグを一番上まで縮める。

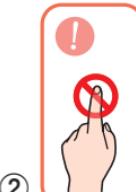
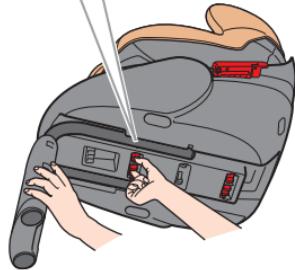


## 車からチャイルドシートを取り外す

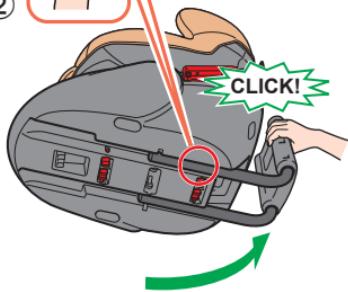
### 5 サポートレッグを収納する



①



②

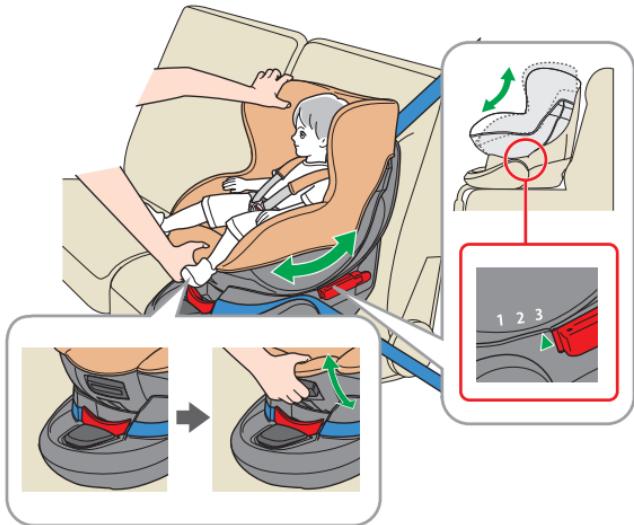


- ① サポートレッグ解除レバーをつまみ、ロックを解除する。
- ② サポートレッグをベース前面から背面に回転させ固定する。

## —MEMO—



# リクライニングの操作方法



動画

リクライニング  
操作方法・回転操作

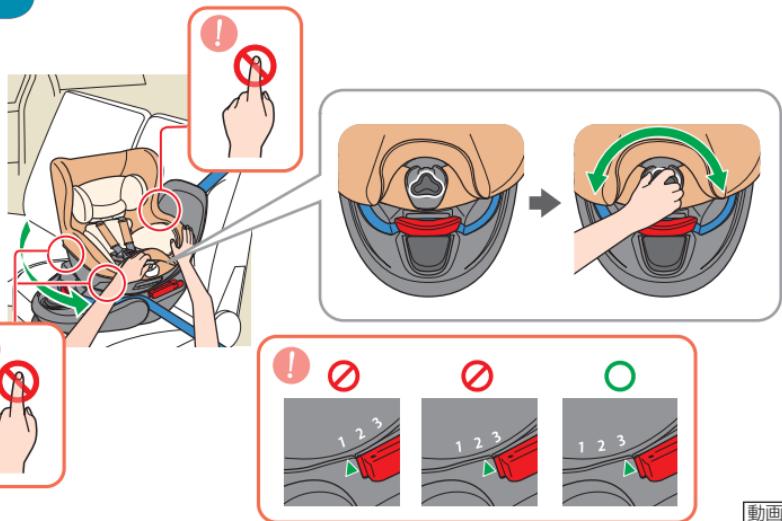


## リクライニングを調節する(前向き固定の場合のみ)

シートを前向きに固定している場合は、3段階にリクライニングを調節することができます。リクライニングはリクライニングレバーを握りながら、前後にスライドさせてください。



# 回転操作方法



回転操作をする(リクライニングが「3段目」の場合のみ回転します)  
クルレットノブを左右どちらかに最大まで回したままシートを回転させます。

動画  
リクライニング  
操作方法・回転操作



**⚠ 注意** 回転操作する際は、可動部に指を挟まないようにご注意ください。



# お子さまを乗せる

動画

お子さまの乗せ降ろし



## チャイルドシートの向きの確認

お子さまの体重によって、チャイルドシートを固定する向きが異なります。お使いになるお子さまに適切な向きをご確認ください。



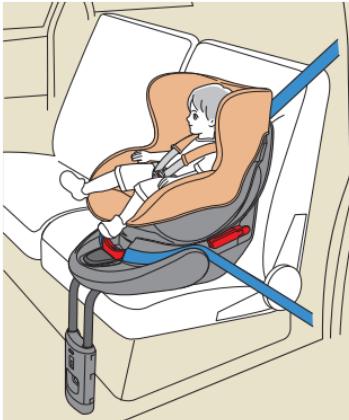
新生児～13kg

後向き



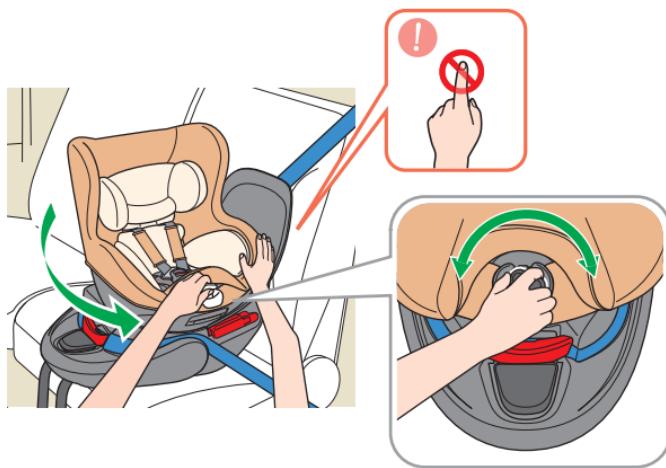
9kg～18kg

前向き



お子さまを乗せるときは、極端に厚着をした状態で乗車させないでください。肩ベルトがしっかり拘束できない場合があります。

1 シートを横向きに回転させる



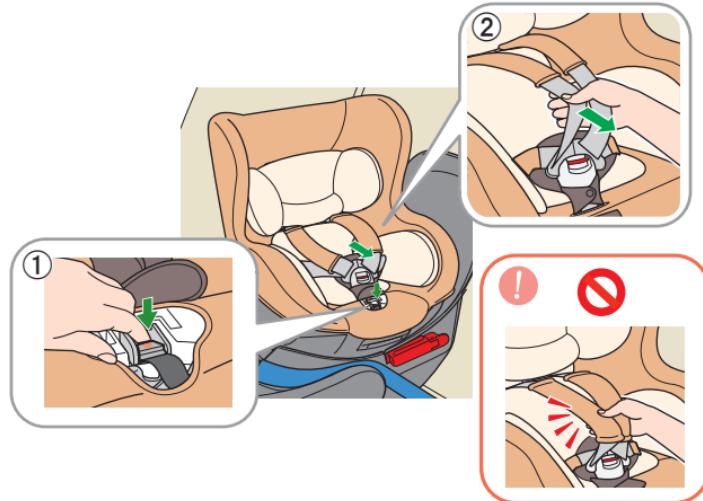
クルットノブを最大まで回す。

回転操作方法 ➡ **39** ページへ



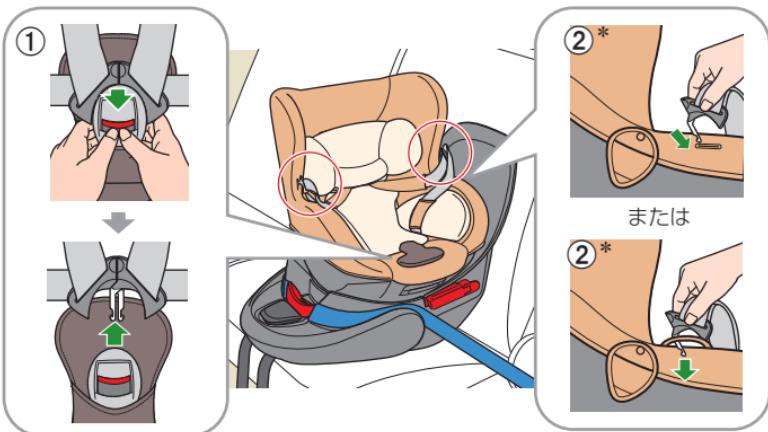
## お子さまを乗せる

### 2 肩ベルトを緩める



- ① アジャストレバーを押しながら、
- ② 肩ベルトを引っ張り出して、肩ベルトを緩める。  
肩ベルトは左右両方とも緩めてください。

### 3 バックルを解除する



- ① バックルの赤いボタンを下に押して、タングを外す。
- ② 外したタングをタングホルダー\*に掛けておく。  
タングやベルトがお子さまに引っ掛からずに、乗せ降ろしの際に便利です。

\*タングホルダーはグレードにより仕様が異なる場合や付属されていない場合があります。



# ママの手クッションを調節する

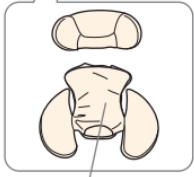
動画

ママの手クッション  
“フラット2”の使用方法

## ママの手クッション“フラット2”の使用期間の目安



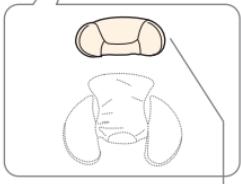
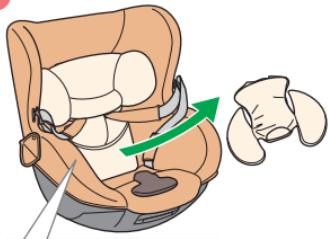
新生児～7kg前後



ヒップサポート\*は、首がすわり、  
胸周りが窮屈になるのを目安に外す。



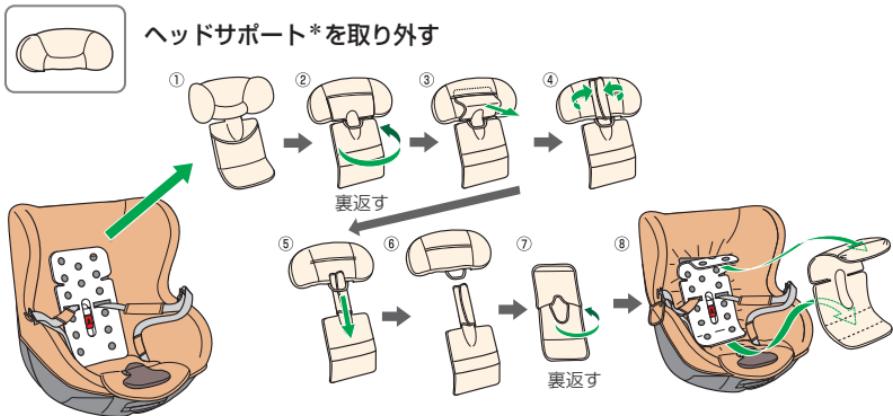
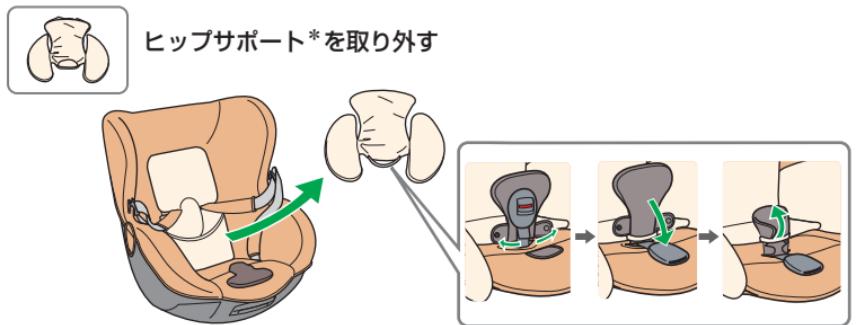
7kg前後～



ヘッドサポート\*は、頭周りが  
窮屈になるのを目安に外す。

お子さまの体格に合わせて、ママの手クッション“フラット2”を調節してください。

## ■ ママの手クッション“フラット2”の取り外し方法

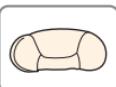


\*グレードにより仕様が異なる場合や付属されていない場合があります。

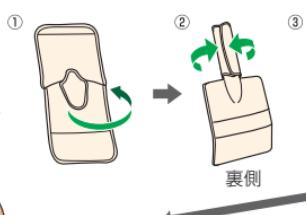
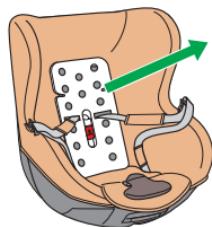


## ママの手クッションを調節する

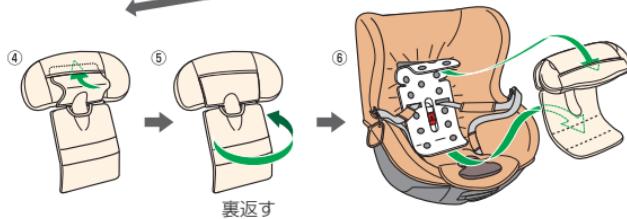
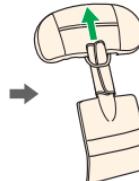
### ■ ママの手クッション“フラット2”の取り付け方法



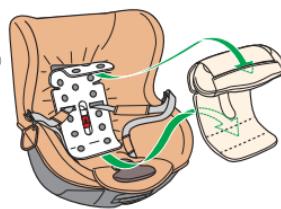
ヘッドサポート\*を取り付ける



裏側

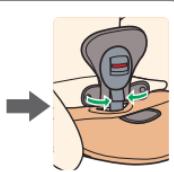
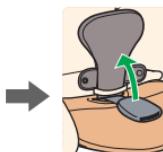


裏返す





ヒップサポート\*を取り付ける



\*グレードにより仕様が異なる場合や  
付属されていない場合があります。



# 肩ベルトの高さを調節する

動画

肩ベルトの調節  
お子さまを乗せた後の確認

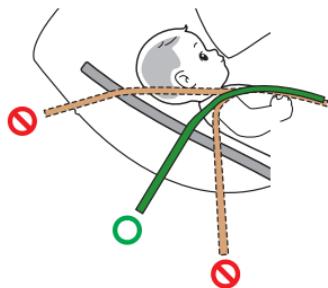


1

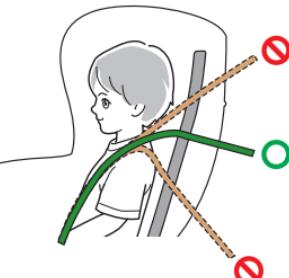
お子さまの成長に応じて、肩ベルトの高さを調節する



新生児～13kg  
後向き



9kg～18kg  
前向き



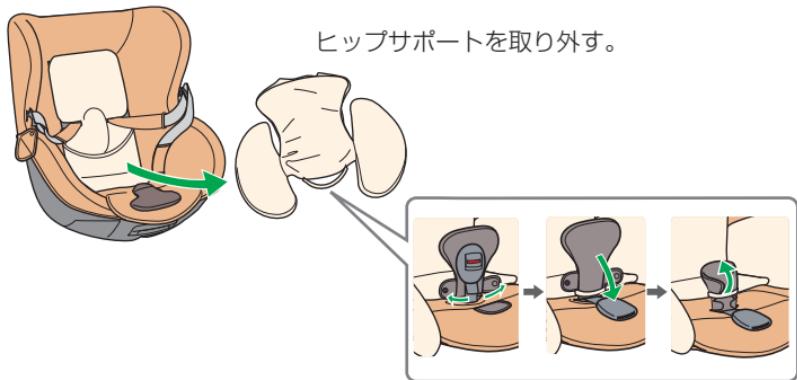
肩ベルトはお子さまの肩から背もたれに対して垂直になるように調節する。



警告

正しい肩ベルトの高さに調節されていないと、衝突時お子さまを適切に保護できず、死亡や重傷を負うおそれがあります。

**2** ヒップサポートを取り出す(装着されている場合のみ)

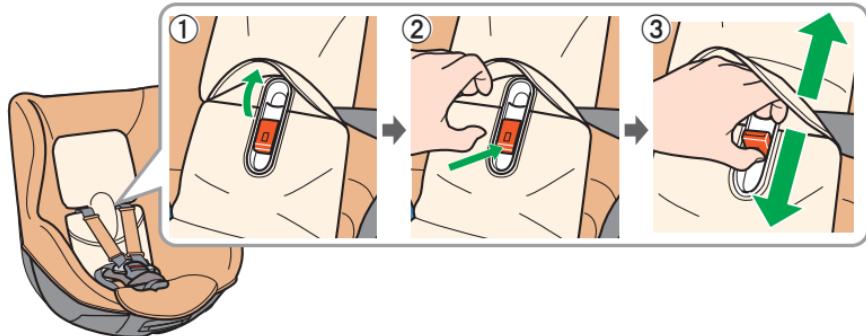


ヒップサポートの取り外し方法 ➡ **45** ページへ



## 肩ベルトの高さを調節する

### 3 肩ベルトの高さを調節する



①背もたれカバーをめくる。

②肩ベルト調節レバーをつまんで、

③適切な高さに調節する。

調節が終わったら、必要に応じて、ヒップサポートを取り付けます。

#### 参考

肩ベルト調節レバーをつまんでも、高さ調節できない場合は、肩ベルトを緩めてから調節してください。

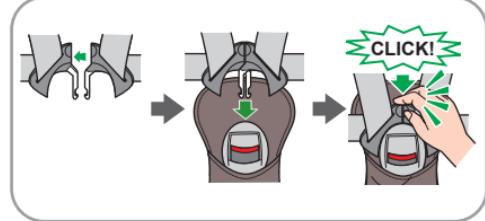
肩ベルトの緩めかた ➔ **42** ページへ

## 4 バックルを差し込む

①



②



① お子さまの腕に肩ベルトを通す。

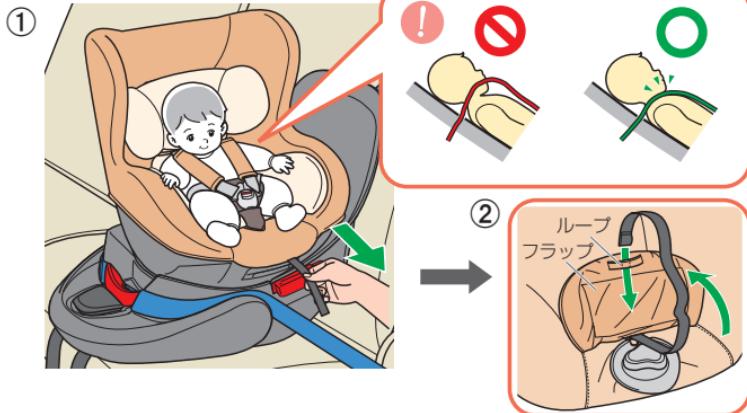
② 左右のタングを重ね合わせ確実にバックルに差し込む。

**⚠ 注意** お子さまのお尻が一番深い位置にくるように座らせてください。



## 肩ベルトの高さを調節する

### 5 肩ベルトを締める



- ① 肩ベルトアジャスターを引き、肩ベルトでお子さまをしっかりと拘束する。
- ② 引いた後の肩ベルトアジャスターは、フラップの裏側にあるループに通す。

**⚠ 注意** 肩ベルトがお子さまの肩から鎖骨まで密着するように、肩ベルトアジャスターを引いてください。



# お子さまを乗せた後の確認

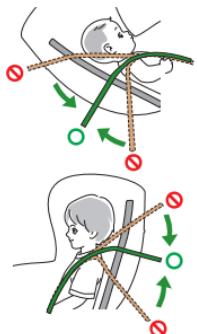
お子さまを乗せ終わったら、次のポイントを確認する。

動画

肩ベルトの調節・  
お子さまを乗せた後の確認



- ① お子さまの肩から背もたれに対して肩ベルトが垂直になっている。



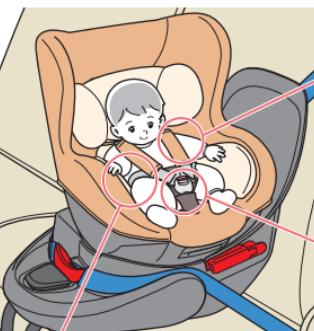
- ② 腰ベルトがお子さまの骨盤にあたっていて、緩んでいない。



- ③ 肩ベルトがお子さまの肩から鎖骨まで密着するように締められている。



- ④ パックルが確実に差し込まれている。



- ⑤ お子さまの体格に合わせてママの手クッションが調節されている。

- ⑥ お子さまのおしりが一番深い位置になっている。

- ⑦ 腰ベルトがねじれていない。

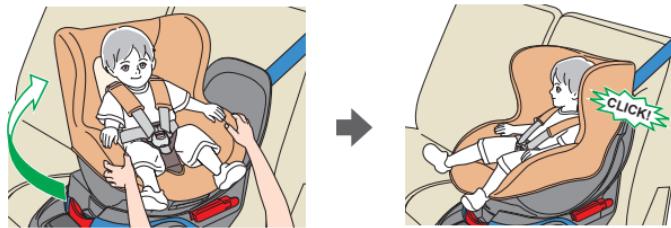
よくあるご質問 ➡ **72** ページへ



新生児から1才半頃まで(～13kg)のお子さまの場合  
後向きにシートを回転させて、固定する。



9か月頃から4才頃まで(9kg～18kg)のお子さまの場合  
前向きにシートを回転させて、固定する。



⚠ 警告

走行中は、回転機構を必ずロックさせてください。ロックさせない状態で使用すると、衝突時お子さまを適切に保護できず、死亡や重傷を負うおそれがあります。



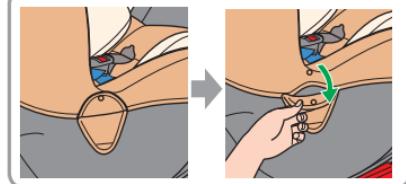
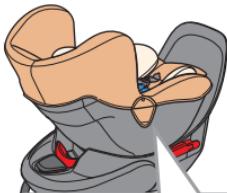
# 日よけを取り付ける

(日よけ付きモデルの場合)

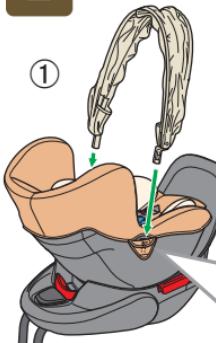
動画  
日よけの取付・使用  
・取外方法



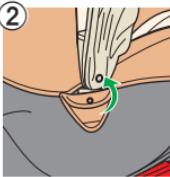
## 1 本体カバーのホックを外す



## 2 日よけを差し込む



①



②



本体カバーの両側にあるボタンを外す。

① 日よけを差し込む\*。

② 本体カバーのボタンと日よけのボタンを留める。

\*日よけに向きはありません。  
お好きな向きでご使用ください。



# 日よけの使いかた

## 日よけの使用期間の目安

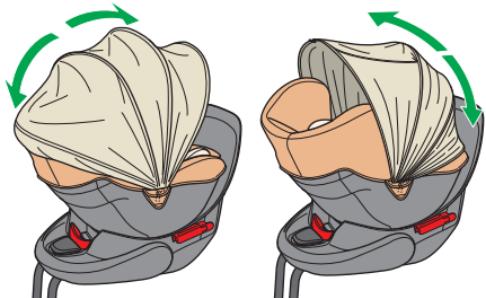
日よけを折りたたんだ状態で、お子さまの頭が日よけに干渉しない間は、使用できます。

動画

日よけの取付・使用  
・取外方法



## 日よけを広げる



日よけを広げる。

日よけは日差しの方向にあわせて前後に自由に調節してください。

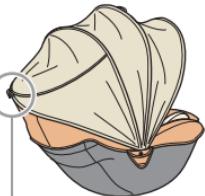
日よけの生地をしっかりと下げないと、日よけを広げることができません。

必ず、本体カバーのボタンと日よけのボタンを留めてください。

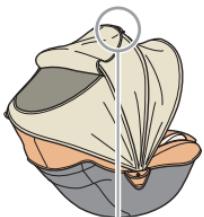
## ウィンドウを留める

\*グレードにより仕様が異なるため付属されていない場合があります。

ウィンドウを閉じた状態

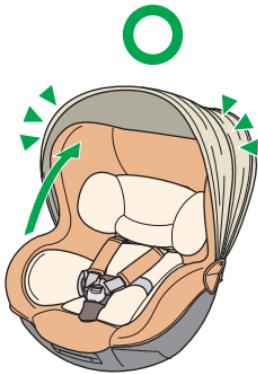


ウィンドウを開けた状態



ループにトグルを通して留める。

## 日よけを折りたたむ



日よけを折りたたむ際、シートの張り出しに日よけのフレームを掛けないでください。夏場の高温下の車内で、フレームが変形する可能性があります。

### ⚠ 注意

本品を持ち運びする際は日よけ部分を持たないでください。  
破損するおそれがあります。

日よけをご使用中にお子さまの頭が日よけに掛かる場合や、お子さまの乗せ降ろしの際に、日よけが妨げになる場合は、日よけを取り外してください。



# 日よけを取り外す

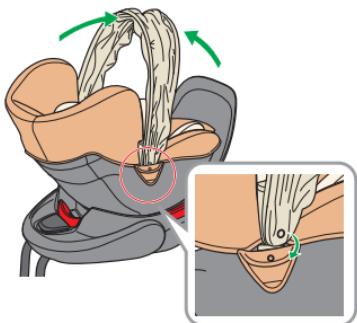
(日よけ付きモデルの場合)

動画

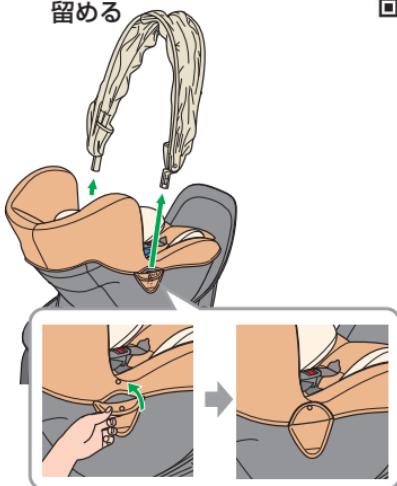
日よけの取付・  
使用・取外方法



- 1 本体力バーのボタンを  
外す



- 2 日よけを取り外し  
本体力バーのボタンを  
留める



本体力バーのボタンと日よけの  
ボタンを外す。

日よけを引き抜く。  
本体力バーのボタンを留める。



日よけを取り外すときは、無理に引っ張らないでください。  
破損するおそれがあります。



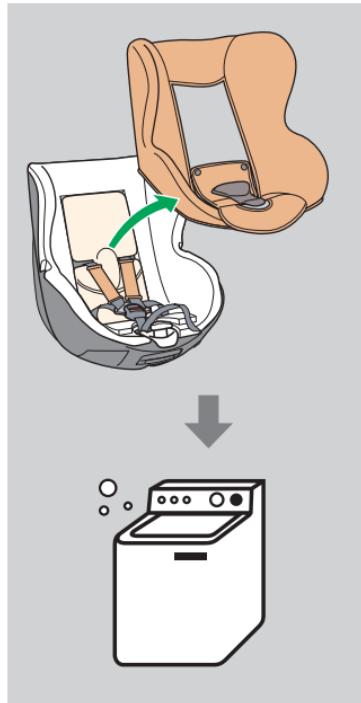
# カバーを取り外す

(付属するクッションはグレードにより異なります)

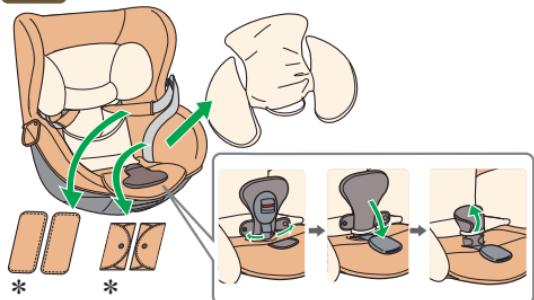
動画  
カバーの取外方法  
取付方法



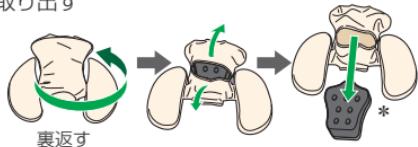
動画  
肩シートベルトガードカバー  
の取外方法・取付方法



1 ヒップサポート\*、フラットクッション2\*、  
よだれパッド\*、腰ベルトカバー\*を取り外す



ヒップサポート\*からフラットクッション2\*を  
取り出す

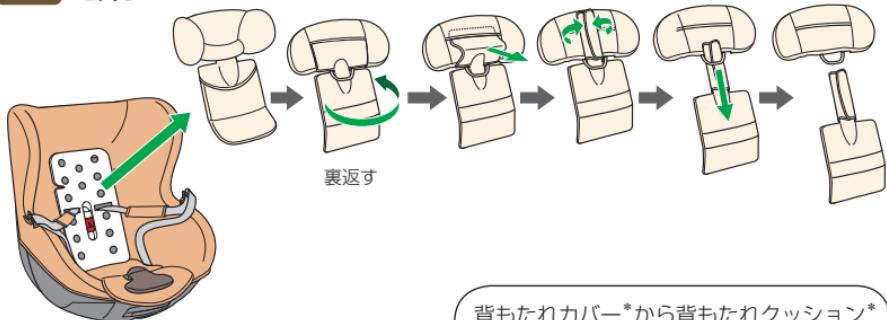


\* グレードにより仕様が異なる場合や付属されていない場合が  
あります。



## カバーを取り外す

2 背もたれカバー\*と背もたれクッション\*、ヘッドサポート\*、ヘッドクッション\*を外す

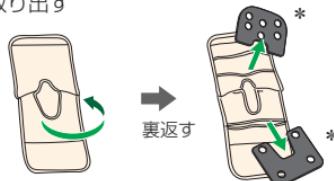


ヘッドサポート\*からヘッドクッション\*を取り出す



ヘッドサポート\*の裏側にあるポケットからヘッドクッション\*を取り出す。

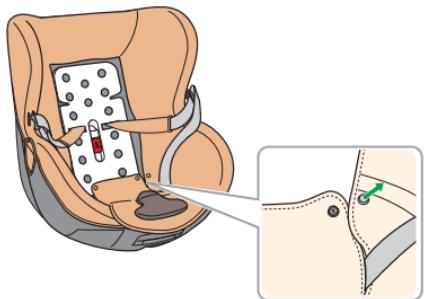
背もたれカバー\*から背もたれクッション\*を取り出す



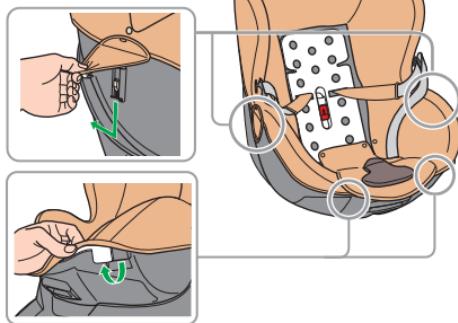
背もたれカバー\*の裏側にあるポケットから背もたれクッション\*を取り出す。

\* グレードにより仕様が異なる場合や付属されていない場合があります。

**3** 本体カバーのボタンを外す



**4** 本体カバーのフックを外す



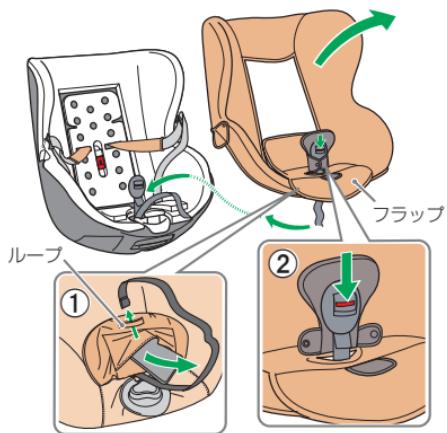
腰ベルトの根元近くにある両側のボタンを外す。

本体に付いているフック4か所を外す。

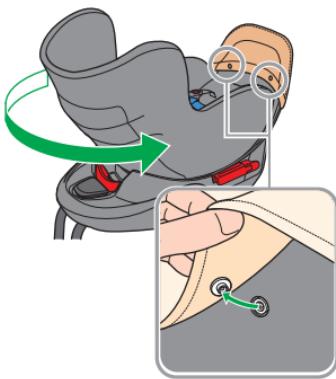


## カバーを取り外す

### 5 本体力カバーを取り外す



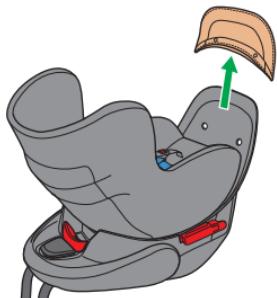
### 6 肩シートベルトガードカバーのボタンを外す



#### ⚠ 注意

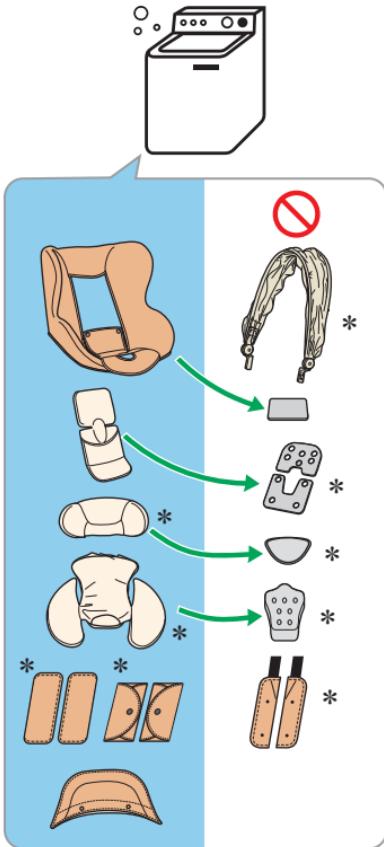
肩ベルトカバーは取り外せません。

7 肩シートベルトガードカバーを外す



肩シートベルトガードカバーを取り外す。

\* グレードにより仕様が異なる場合や付属されていない場合があります。





# お手入れのしかた

## ■ お手入れ

本品のカバー類をチャイルドシートから取り外したら、以下の注意項目に従ってお手入れしてください。

- 洗えないカバー類やクッション類が汚れた場合は、薄めた中性洗剤を含ませ固く絞った布で拭いてください。
- カバー類で覆われていないところの汚れは、柔らかいきれいな布で拭いてください。それでも落ちない場合は、薄めた中性洗剤を含ませ固く絞った布で拭いてください。
- 本体の強度が落ちますので、シンナーなどの溶剤を使用しないでください。
- 洗濯の回数やカバーの経年劣化の状態によっては、シワ等が発生する場合がありますが、性能に問題はありません。

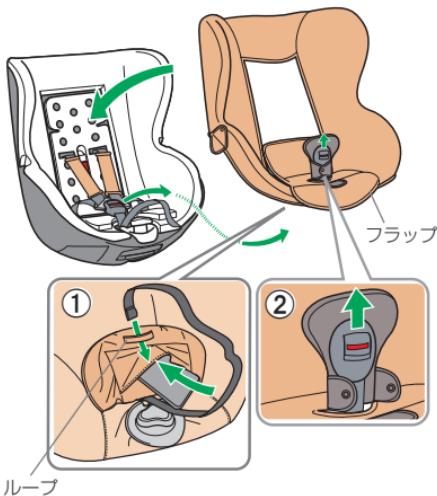
### 洗濯上の注意

	30℃以下の液温で、洗濯機は弱水流または弱い手洗いモードで洗濯してください。また、必ず洗濯ネットおよび、中性洗剤を使用してください。
	塩素系および酸素系漂白剤による漂白はできません。
	タンブル乾燥はできません。
	洗濯機で脱水後、形をととのえてから陰干しし、よく乾かしてください。ねじり絞りは避けてください。
	アイロンは低温であて布をして、表面から掛けてください。
	ドライクリーニングはしないでください。
	弱い操作によるウエットクリーニングができます。



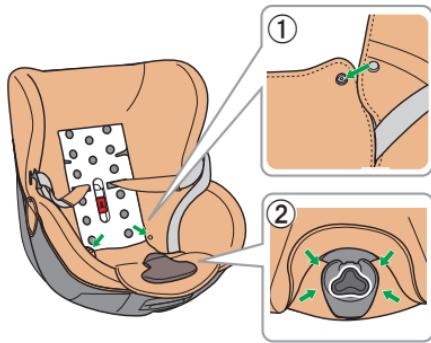
# カバーを取り付ける

## 1 本体カバーを取り付ける



- ① フラップを裏返し、フラップクッションを入れ、肩ベルトアジャスターをループに通す。
- ② バックルをカバーに通す。

## 2 ボタンを留める



- ① 本体カバーに付いているボタン2か所を留める。
- ② クルットノブの下側にある樹脂板に生地を挟み込む。

動画  
カバーの取外方法  
取付方法



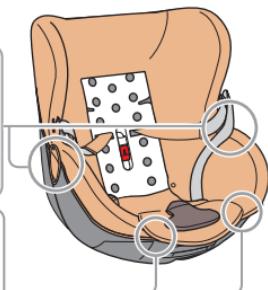
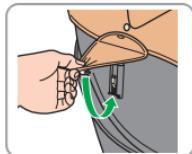
動画  
肩シートベルトガードカバーの取外方法・取付方法



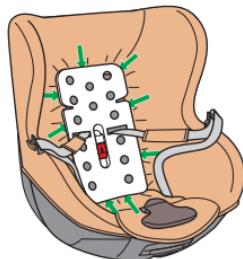


## カバーを取り付ける

3 フックを引っ掛ける



4 本体カバーを背もたれプレートの裏に入る

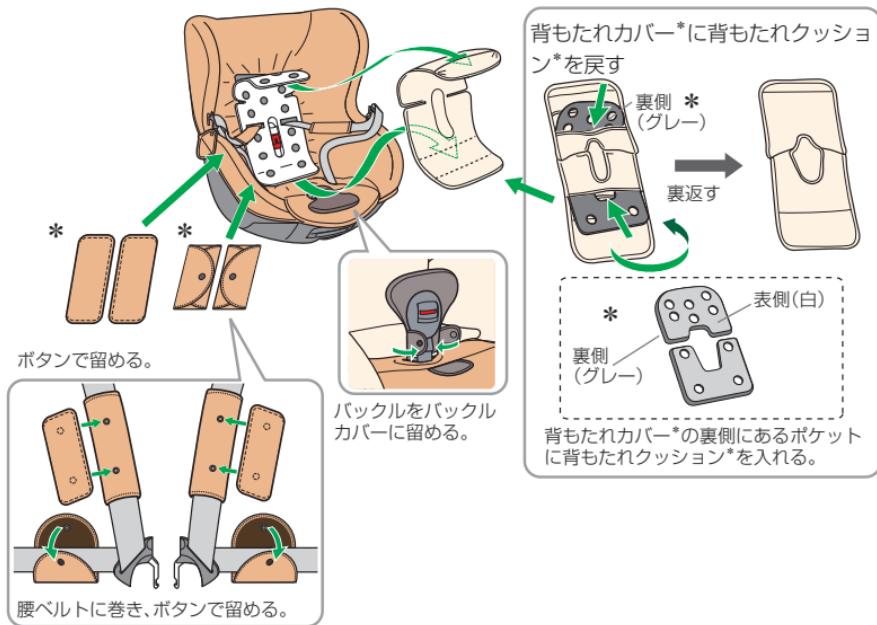


本体カバーのフックを前面フック2か所、  
および側面フック2か所(左右)に引っ掛け  
る。

本体カバーを背もたれプレートの裏に  
入れる。

## 5

背もたれカバー\*、背もたれクッション\*、よだれパッド\*、腰ベルトカバー\*を取り付ける



\*グレードにより仕様が異なる場合や付属されていない場合があります。



## カバーを取り付ける

動画

ママの手クッション  
“フラット2”の使用方法

6

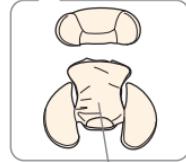
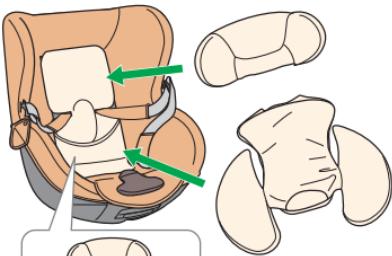
お子さまの体格に合わせてママの手クッション  
“フラット2”を調節する



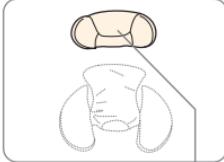
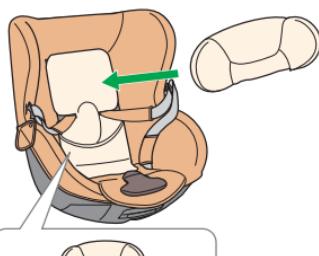
新生児～7kg前後  
首すわり頃まで



7kg前後～



ヒップサポート\*は、首がすわり、  
胸周りが窮屈になるのを目安に外す。



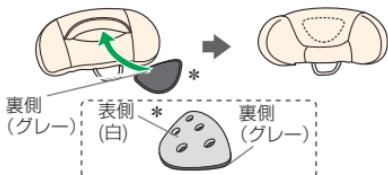
ヘッドサポート\*は、頭周りが  
窮屈になるのを目安に外す。

お子さまの体格に合わせて、ママの手クッション“フラット2”を調節してください。



## ヘッドサポート\*を取り付ける

ヘッドサポート\*にヘッドクッション\*を戻す

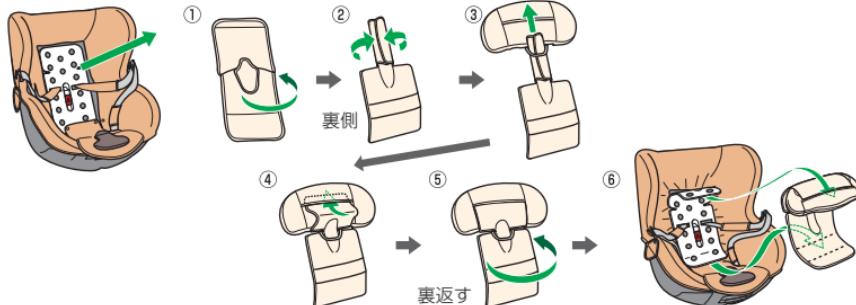


ヘッドサポート\*の裏側にあるポケットに  
ヘッドクッション\*を入れる。

背もたれカバー\*に背もたれクッション\*を戻す



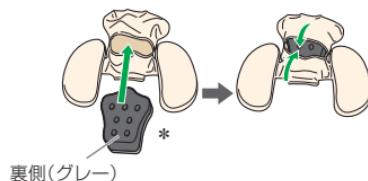
背もたれカバー\*の裏側にあるポケットに  
背もたれクッション\*を入れる。



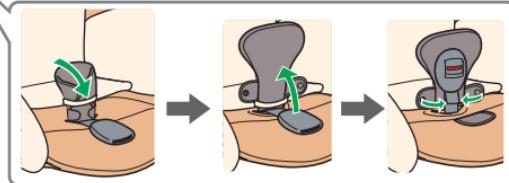
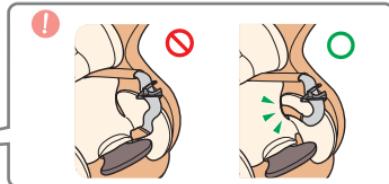
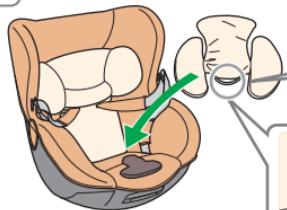


## カバーを取り付ける

ヒップサポート\*にフラットクッション2\*を戻す

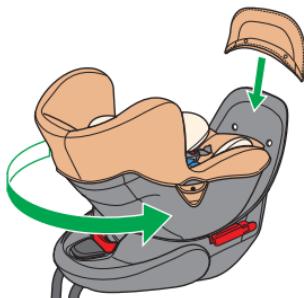


ヒップサポート\*を取り付ける

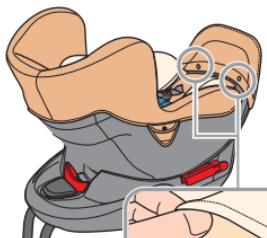


\* グレードにより仕様が異なる場合や付属されていない場合があります。

**7** 肩シートベルトガードカバーを  
肩シートベルトガードにかぶせる



**8** カバーのボタンを留める



シートを後向きに回転させて、  
肩シートベルトガードカバーを肩  
シートベルトガードにかぶせる。

カバーのボタンは肩シートベルト  
ガードの穴に通して留める。  
ボタンは左右2か所留める。

## よくあるご質問

よくあるご質問は以下のエールベベホームページまたはQRコードからご確認することができます。

よくあるご質問では、チャイルドシートについての疑問・質問への回答、およびアドバイスを行っています。

パソコンから・・・ <http://www.ailebebe.jp/support/>

よくあるご質問

ケータイから・・・



お客様の疑問・質問が掲載されていない場合は、お手数ですが、巻末に記載のサービスセンターまでお問い合わせください。

## ● 取り付けについて

どの座席に取り付けたら良いですか？

路上でのお子さまの乗せ降ろしや、運転席からお子さまの様子を確認しやすくするために、後部座席の助手席側をお勧めします。  
(お車によっては取り付けできない座席がございます。必ず適合情報をご確認ください。)

## ● 使いかたについて

回転操作ができません。

回転操作はリクライニングが3段目の場合のみ操作できます(39ページ参照)。

肩ベルトが緩まない。

肩ベルトカバーを引いてませんか？アジャストレバーを押しながら、肩ベルトを引いてください(42ページ参照)。

リクライニングができません。

車のヘッドラストに干渉していませんか？干渉している場合は、ヘッドラストを外してください。

付属するクッション類の使用期間がわかりません。

44ページを参照してください。

肩ベルトの高さ調節ができません。

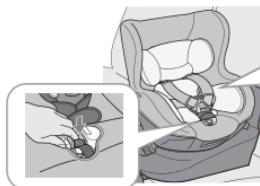
肩ベルトを緩めてから操作してください(42ページ参照)。

肩ベルトがねじれてしまします。

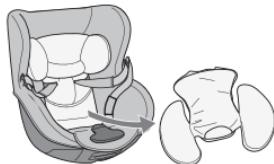
お子さまの乗せ降ろしの際は、外したタングをタングホルダーに掛けておくとねじれの予防になります(43ページ参照)。

## 肩ベルトが短くて足りません。

① 肩ベルトを充分に緩めてください。



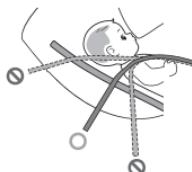
② 首すわり頃で、胸周りが窮屈になった場合はヒップサポートを外してください(体重の目安：7kg前後)。



③ 肩ベルトの高さを適切な高さに調節してください。



新生児～13kg  
後向き



9kg～18kg  
前向き



④ お子さまを乗せるときは、極端な厚着にしないでください。

※ 正しく装着するために、ダウンジャケット等の上着を脱いでから乗車させてください。

- ⑤ ヒップサポートを使用している場合は、ヒップサポートを正しい位置にしてください。



ヒップサポートがしっかり  
奥に設置されている



ヒップサポートが  
下にズしている

- ⑦ お子さまを乗せたとき、肩ベルトが肩からズレていないか確認してください。



肩ベルトをお子さまの  
肩に沿わせる



肩ベルトがお子さまの  
肩の外側を通っている

- ⑥ お子さまが新生児の場合、下記のように正しい位置に乗せてください。



肩ベルトとお子さまの  
肩の位置を合わせる



お子さまが下に  
ズれている

## ● お子さまについて

チャイルドシートに嫌がって座りません。

長時間同じ姿勢でいるとぐずる原因になります。適度な休憩を取るなど、気分転換をしてください。

チャイルドシートから抜け出す。

肩ベルトがゆるいと抜け出しの原因になります。適切な締め付けを行ってください(52ページ参照)。

## ● その他

品番や製造番号(ロット番号)はどこに記載されていますか？

本体の右側面のシールに記載しています(78ページ参照)。

替えカバーなどのパーツは購入できますか？

ご購入いただけます。ご購入は、弊社サービスセンターへお問い合わせください。

パートの  
詳細はこちら



壊れてしまったのですが、修理はできますか？

破損や故障については、弊社サービスセンターへお問い合わせください。

# 保証書

## 〈保証規定〉

1. 保証期間内(ご購入日より4年間)に正常な使用状態において、万が一故障した場合には無料にて修理いたします。
2. 保証期間内においても次の場合には有料での修理となります。
  - A. 樹脂(プラスチック)部品の紫外線等自然劣化による変色。
  - B. 本体カバー等の縫製部品の汚れや損傷。
  - C. お客様の誤使用、不当な修理や改造による故障および損傷。
  - D. ご購入後の輸送・移動・落下等による故障および損傷。
  - E. 火災・地震・水害・落雷その他の天災地変による故障および損傷。
  - F. 本証書をご購入日・販売店名の記入のない場合、または字句を書き換えられた場合。
  - G. 本証書のご提示がない場合。
  - H. 一般家庭以外で、業務用やレンタル等でご使用され故障した場合。
    - I. 有料修理の場合に要する運賃などの諸経費。
  3. 一度ご使用になった製品は、原則的に取り替えできません。
  4. 衝突事故など、一度でも強い衝撃を受けた製品の修理はできません。
  5. 製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理などの対応ができないことがあります。
  6. 他の人から譲り受けたもの、または再販品に関しては保証対象外となります。
  7. 日本国内のみ有効

**CARMATE** 株式会社 カーメイト

本社/〒171-0051 東京都豊島区長崎5-33-11



# 保証書

本証書は、裏面に記載の保証規定に基づいて無料で修理することをお約束するものです。  
ご購入日から保証期間中に製品の故障が生じた場合は、本証書を弊社サービスセンター  
またはご購入の販売店にご提示の上、お問い合わせください。

ご購入後、ご使用になる前にご購入日、お客様名、販売店名をただちにご記入願います。  
本証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

(製造番号は本体のベース右側面に記載されております。)



商品名	製造番号：WJ110123456などの英数字		
保証期間	ご購入日より 4 年間 (※保証規定による)	ご購入日	年 月 日
お名前	ご購入者名	ご購入者	
ご住所〒	住所 〒	TEL.	
TEL.		TEL.	
修理メモ			

見本

## 製品仕様

製品寸法(高さ×幅×奥行) : H640 mm×W455 mm×D700 mm

(リクライニングが「3段目」、サポートレッグを収納時、日よけを除いた状態)

製品質量 : 15.2 kg (日よけを除く)

本体材質 : ポリプロピレン、ポリアミド、ポリアセタール、A B S

本体力バー : ポリエステル、ウレタンフォーム

本体クッション : ポリスチレン、ウレタン

## 保管方法

本品に市販の袋等をかぶせて、直接日光の当たらない涼しい場所に保管してください。

## 廃棄方法

- お住まいの各自治体の指示に従い、処分・廃棄してください。
- 事故により本品を処分する場合は、油性ペン等で本品の目立つところに「事故品」と記載してください。

## お問い合わせ先

★商品のお問い合わせや、替えカバーなどのパーツ購入については……

**カーメイトサービスセンター**

**TEL03-5926-1212(代表) FAX03-5926-1218**

パソコンからは…<http://www.carmate.co.jp/support/>

電話受付時間 〈平日〉10:00~18:30

〈土・日・祝〉10:00~12:00/13:00~18:30

★年始（1/1～1/2）および、盆時期の一部等は休業日とさせていただきますのでご了承ください。

●仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

●本品の誤った取り扱いや改造した場合での事故について、弊社はその責任を一切負いません。

**株式会社 カーメイト**

本社/〒171-0051 東京都豊島区長崎5-33-11